

平成25年7月29日  
消 防 庁

## 平成25年度少年消防クラブ交流会の開催

将来の地域防災の担い手育成を図るため、少年消防クラブ員が消防の実践的な活動を取り入れた訓練等を通じて他地域の少年消防クラブ員と親交を深めるとともに、消防団等から被災経験、災害教訓、災害への備えなどについて学ぶ「少年消防クラブ交流会」を開催します。

- 1 主 催  
消防庁
- 2 日 程  
平成25年8月7日（水）～9日（金）
- 3 開催地  
徳島県徳島市、北島町
- 4 参加クラブ  
西日本地方のモデル少年消防クラブ等から募集した19クラブ  
（近畿地方1クラブ、中国地方4クラブ、四国地方11クラブ、九州・沖縄地方3クラブ）
- 5 協 力  
（一財）日本防火・防災協会、（財）日本消防協会、徳島県、（公財）徳島県消防協会

## 【参考】

少年消防クラブとは、防火・防災思想の普及を図ることを目的として、少年少女で結成されている自主的な防災組織です。防火や防災についての知識等を身近な生活の中に見出すとともに、日ごろから防火・防災講習会等への参加、火災予防ポスターの作成、防火パトロールや防火・防災に関する研究発表会の実施などの活動をしています。平成24年5月1日現在<sup>\*</sup>、全国の4,749クラブで約42万人がクラブ員として活動しており、14,034人が指導にあたっています。

モデル少年消防クラブとは、実践的な活動を取り入れるなど積極的な取組を企図しているクラブのうち、少年消防クラブ活性化推進会議（構成：消防庁、文部科学省、（一財）日本防火・防災協会、（財）日本消防協会、全国消防長会等）により選定された88のクラブをいいます。

<sup>\*</sup> 東日本大震災の影響により、宮城県女川町、福島県広野町、檜葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村のデータについては、平成22年5月1日現在の値による集計。



## &lt; 問い合わせ先 &gt;

消防庁国民保護・防災部防災課  
原尻、松澤、中村  
電 話：03-5253-7525（直通）  
F A X：03-5253-7535  
E mail：chiikibousai@ml.soumu.go.jp

# 平成25年度少年消防クラブ交流会 概要

## 1 目的

少年消防クラブ員が消防の実践的な活動を取り入れた訓練等を通じて他地域の少年消防クラブ員と親交を深めるとともに、消防団等から被災経験、災害教訓、災害への備えなどについて学ぶことにより、将来の地域防災の担い手育成に資する。

## 2 日程

平成25年8月7日（水）～9日（金）

## 3 参加クラブ

近畿、中国、四国、九州・沖縄地方のモデルクラブ等19クラブ

（1クラブは小学校4年生から中学校3年生までのクラブ員5名程度及び指導者2名程度。クラブ員108名、指導者36名、合計144名）

## 4 内容

（1日目）8月7日

- ・オリエンテーション
- ・参加クラブ活動紹介

（2日目）8月8日

- ・合同訓練（徳島県消防学校）※別紙のとおり
- ・徳島県立防災センターの視察等
- ・参加クラブ活動紹介

（3日目）8月9日

- ・消防団の方との交流 <協力：徳島県那賀町消防団>
- ・解散

## 5 その他

参加した少年消防クラブ員の感想等を基に記録集を作成し、消防庁ホームページに掲載します。

## 合同訓練

参加各クラブ対抗の競技を実施。

対抗競技の種目は、欧州の消防連合組織(CTIF:EUを中心に約40カ国で結成)が、2年に1度開催している「ヨーロッパ青少年消防オリンピック」(平成21年には日本も特別参加)における交流競技種目を参考として、以下の2種目を実施。

### ○クラブ対抗リレー

- ・ 1クラブ5名で行う。
- ・ 全長約160mのトラックを用いる。
- ・ 消防ホースの筒先をバトン代わりに使用する。
- ・ 審判員の笛の合図でスタートし筒先(バトン)をリレーしながら、アンカー(第5走者)がゴールラインを通過して筒先を置くまでのタイムを競う。

第1走者	第2走者	第3走者	第4走者	第5走者
ホース搬送	水消火器搬送	ハードル	分岐金具搬送	ホース延長
40mmホースを搬送し指定の枠(白線)の中まで移動し、ホース展開によりボーリングピンを倒す。	水消火器を搬送し指定の枠(白線)の中に置き、水消火器を噴射し標的を2つ倒す。	コース上に設置された第1ハードルを飛び越え、第2ハードルをくぐり抜ける。	分岐金具を搬送し第5走者待機位置にある40mmホースと結合し、筒先を渡し、分岐金具を保持する。	40mmホース2本と筒先を結合しホースを延長する。

### ○クラブ対抗障害物競走

- ・ 1クラブ5名で行う。
- ・ 指揮者1名を含む5名でホースを延長しながらコース上の障害をクリアする。
- ・ 直線約65mの会場を用いる。
- ・ スタートの笛の合図とともに、協力して障害を越えながら二重巻きホースを延長し、結索を行った後、全員がゴールするまでのタイムを競う。

指揮者	1番員	2番員	3番員	4番員
	筒先	40mmホース	40mmホース	40mmホース
スタート合図とともに、各障害を越え、最後の結索を行った後、終了報告位置で、各番員の行動を監視し、全員が整列し終わったら、右手をあげ合図する。	スタートの合図で筒先を携行し、各障害を越え、平均台の先にて2番員のホース延長を待つ。ホースに筒先を結合した後、筒先入れに収納する。収納後、最後の結索へ向かい、結索終了後、終了報告位置に整列する。	スタートの合図で二重巻きホースを搬送しながら各障害を越え、柵を越えた位置で3番員のホース延長を待つ。ホースが結合された後、自分のホースを延長しながら平均台を越え、平均台を越えた位置で待っている1番員の携行している筒先が結合された後、最後の結索へ向かい、結索終了後、終了報告位置に整列する。	スタートの合図で二重巻きホースを搬送しながら溝を越え、溝を越えた位置で4番員のホース延長を待つ。ホースが結合された後、自分のホースを延長しながら柵を越え、柵を越えた位置で待っている2番員のホースに延長してきたホースを結合。結合後、平均台を渡り、最後の結索を行い、終了報告位置に整列する。	スタートの合図で二重巻きホースを延長しながら溝を越え、溝を越えた位置で待っている3番員のホースに延長してきたホースを結合し、各障害を越え、最後の結索を行った後、終了報告位置に整列する。